

2020年6月11日

(臨床研究に関する公開情報)

京都大学医学部附属病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究に対して、名古屋大学医学部附属病院で行われた病理検査における余剰検体を提供いたします。この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 肝胎児性肉腫の原因遺伝子解析

[研究責任者] 梅田 雄嗣 京都大学医学部附属病院 小児科 講師

[研究の目的]

この研究の目的は、肝胎児性肉腫やその類縁疾患である肝間葉系過誤腫に特徴的な遺伝子変異や生物学的特性を知ることにより、新しい治療法を開発することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さんと研究方法

小児あるいは成人の肝胎児性肉腫、肝間葉系過誤腫の患者さん

主には組織や細胞などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、正常細胞と比較しながら遺伝子の構造や発現量を解析します。調べる対象は、全ての遺伝子です。さらに、試験管内培養や免疫不全マウスを使用して治療法の開発なども行います。

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液・頬の粘膜・手術検体・過去に取り出された腫瘍組織の病理標本など（診療または他の研究で使用した余りの検体で、この研究のために新たに採取することはありません）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、治療経過、血液検査など

[研究実施期間]

倫理委員会の承認日（2019年7月19日）から5年間です。

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果はデータベース、学会や学術雑誌上で発表されますが、その際も患者さんを容易に特定できる個人情報は明らかになりません。

[問い合わせ先]

名古屋大学医学部附属病院 小児科 市川大輔

連絡先：TEL 052-744-2479